

那珂川市図書館

オススメの1冊

『シカゴよりこわい町』

リチャード・ペック／著 東京創元社 一般書【933.7 ペツ】

9月といえば、敬老の日があります。そこで、おばあちゃんが活躍する物語をご紹介します。

ジョーイ・ダウデルが9歳、その妹メアリ・アリスが7歳の時、父から子どもたちだけで父方の祖母の家に行くように言われます。それから毎年8月になると2人は祖母の家に一週間ほど泊まりに行くようになります。そして、祖母とその町で繰り広げられる出来事が、今や当時の祖母の年齢を超えたジョーイによって回想という形で語られます。

さて、この祖母はたいそう大柄で、年を取っており、その上無愛想で、時には銃をぶっぱなしたり、保安官を丸め込んだりするなど、子どもたちのお手本になるとはいえません。子どもたちも初めは度肝を抜かれたり、おびえたりします。しかし、何年か祖母と過ごすうちに、その豪快な祖母に慣れ、祖母の家に行くのを心待ちにするようになっていきます。

祖母は祖母なりのやり方で町の秩序を守ったり、飢えている者を支援したり、愛を守ったりします。祖母の愛情は分かりやすい態度や言葉で示されることは少なく、それだけにラストの祖母の行動は印象深く残ります。じんわりと愛が伝わる物語です。続編も2冊出ています。

那珂川市図書館司書（ひらりー）